



# 喜志小だより

令和4年3月号



さあ、やってみよう! 『喜志一心(きしいっしん)』 ~児童・保護者・地域・教職員が、喜志小で心ひとつに~

## Marchを奏でて

こうちょう 校長 しのの 塩野 よしかず 義和



こんねんど は さんがつ じゅんぴ じき  
今年度も早や3月、まとめと準備の時期になりました。

いっさくねんど さんがつ まえ  
一昨年度の3月には、『できるか、できないか』の前に『やるか、やらない

か』、昨年度の3月には、『やるか、やらないか』の二者択一の前に『どのよう

にやるか』という、年度間のまとめを、それぞれさせていただきました。

さて今年度はというと、引き続きコロナ禍ではありましたが、こどもたちのや

る気、保護者や地域のみなさんの応援、そして職員の踏ん張り、この3つが

見事に揃い、行事や取組もほぼ従前に戻せ、更に進化したものまで打ち出す

ことができました。単に日常を取り戻すというだけではなく、どうせなら新しい

日常を創りたいとの熱い思いが現実になりました。5年生及び6年生の劇

(ミュージカル)についても、中止ではなく延期という判断をし、今月にそれぞ

れ実施いたします。ものすごい集中力と創作意欲をもって、短期間に仕上げ

ていくこどもたちの姿に、毎年驚かされます。そして本番、こどもたちは自身

や仲間の力、共感力の高まりを実感し、保護者のみなさんは、こどもたちの確

かな成長を大いに感じられることでしょう。

生で演じる、生で観る、Marchを奏でるということにこそ意味があるの

です。「早くコロナ終わったらいいのになあ。」これについては、みんな同じ思

いでしょう。しかし「すべて元通りになっただけのいいのになあ。」これはどうでしょう

か。私は、すべて元通りになることには多少の違和感を持っています。だからこ  
そ、この3月(March)には、まとめと準備を行い、しっかりと判断していき  
ます。

最後に、あらためて今年度の本校教育活動へのご理解ご支援に感謝いたし

ます。本当にありがとうございました。また来年度は、本校創立150周年という

大きな節目の年度となります。更なるご協力を賜り、

次代の喜志小を、『喜志』を挙げてみなさんとともに創

っていきたくと考えています。今後ともよろしくお願

い申し上げます。



自分の成長に気づき、次へのステップアップへ

きょうとう 教頭 もりわか ともこ 森若 智子

3月。6年生にとっては『卒業』という大きな節目を迎えます。また、他の学年

にとっても、この1年間を振り返る大切な節目の月です。子どもたちには、この

1年間の頑張りを振り返り、自分の成長をしっかり見つめてほしいと思います。

しかしながら、自分の成長というのは、案外自分自身では気づかないものです。

周りの人から褒められ、認められ、初めて自覚できること

もあります。ぜひ、ご家庭で保護者のみなさんと一緒にこの

1年間を振り返り、子どもたちが自分の成長を自覚し、4

月からの新たなスタートへ向けて、希望や目標をもって臨

んでほしいと願っています。



☆3月の行事予定

☆ 感染症対策について

新型コロナウイルスの変異株(オミクロン株)は、強い感染力をもっています。感染症対策をこれからも学校で続けていきたいと思えます。マスクの着用、手指の消毒、密にならない等、今後ご協力をお願いいたします。

正しいマスクの着用



※マスクが汚れたり、ひもの部分がちぎれてしまったりすることがあります。ランドセルの中に、予備のマスクをお願いいたします。

☆ 令和4年度の時間割のお知らせ (今年度の時間割と同じです)

	月	火	水	木	金
1・2年	5限	6限	5限	6限	5限
3～6年	6限		6限		6限

※水曜日の時間割について

- ・委員会がある場合 5限…1～4年、6限…5～6年
- ・クラブがある場合 5限…1～3年、6限…4～6年
- ・委員会もクラブもない場合 5限…1～2年、6限…3～6年 となります。

☆ 令和4年度の家庭訪問について (予定)

家庭訪問は、地区で訪問日を決めています。詳しい訪問日時については、4月に連絡させていただきます。なお、今後の状況によっては、変更になる可能性があります。ご了承ください。

日にち	地区
4月25日(月)	宮町、旭ヶ丘町、南旭ヶ丘町
26日(火)	川面町、喜志1～3丁目、通法寺町
27日(水)	桜井町
28日(木)	喜志新家町、喜志4～5丁目、木戸山町

## おめでとう！ 喜志小学校 創立149周年！！

喜志小学校は、明治6年2月25日に、河内国第22番小学校として開設され、明治8年に喜志小学校という名前に改称されました。今年度で創立149周年を迎えます。

### 【校歌】

南にそびゆる 金剛の  
峰の緑を 仰ぎては  
高く望みを かけつつ  
朝な夕なに たゆみなく  
共に 学ばん  
喜志校 我ら

